（別冊）

# コスト調査の結果（米）

# 目的・調査手法

**[目的]** 主な農産物・食品について、生産から消費に至る**食料システムの各段階**における、生産・製造・流通等に要する**費用や取引価格**を調査し、食料システム全体での**コスト構造を明確化**する。

**[調査方法]** 食料システムの各段階の事業者に対して、アンケート調査や聞き取り調査等を実施。特定の流通ルートを対象とする**「モデルケース」の調査**。（統計調査ではない。）

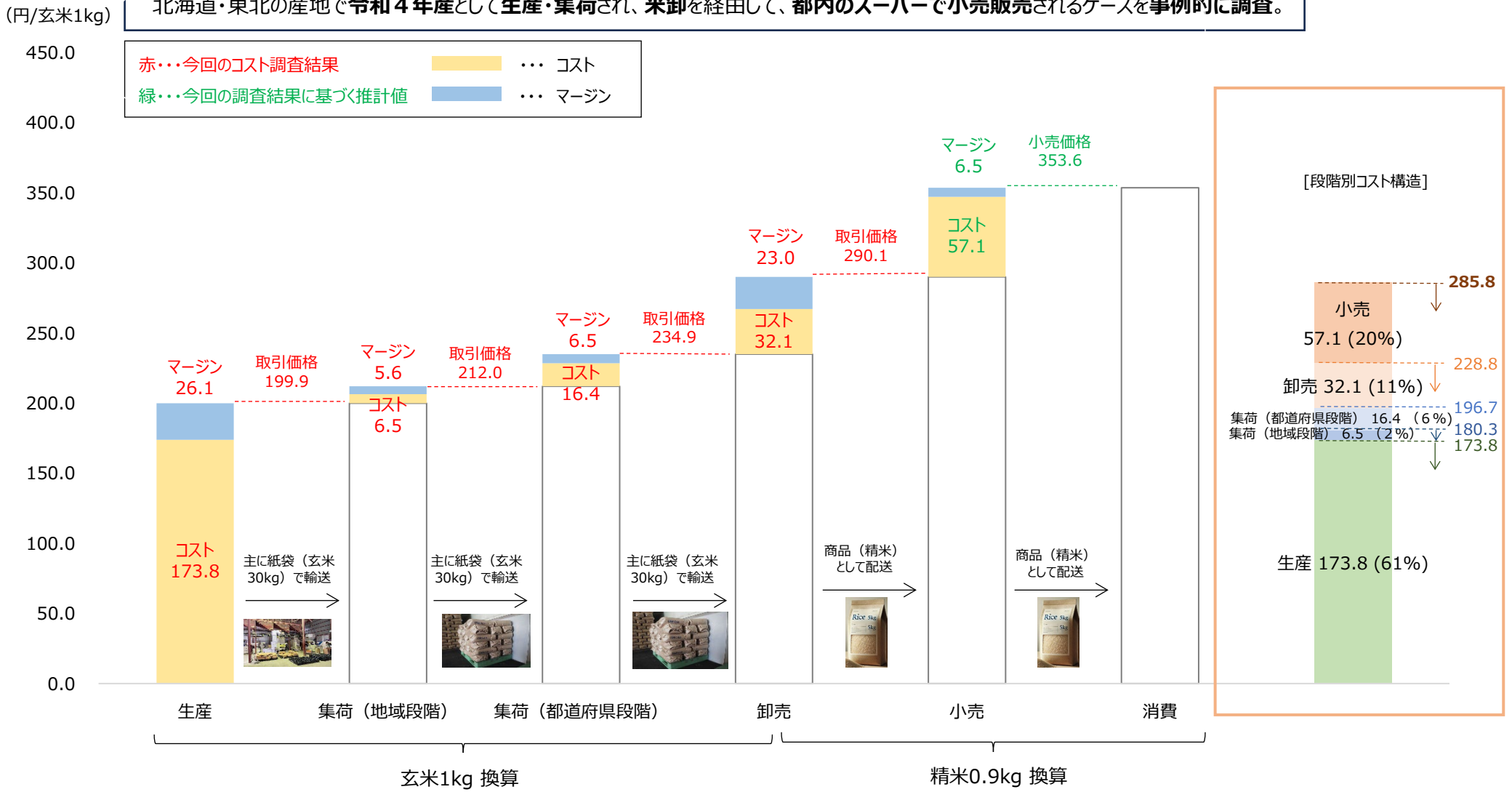
生産：農業者、農協など
集出荷：農協など
製造：メーカー
卸売：東京近郊の卸売事業者
仲卸：東京近郊の仲卸事業者
小売：首都圏の食品スーパー

# 産地一覧

- ✓ 北海道・東北産その１
- ✓ 北海道・東北産その２
- ✓ 北海道・東北産その３
- ✓ 北海道・東北産その４
- ✓ 北海道・東北産その５
- ✓ 関東産
- ✓ 北陸産
- ✓ 全国平均

# 米（北海道・東北産その１）のコスト調査結果

【調査の概要】
北海道・東北の産地で**令和４年産**として**生産・集荷**され、**米卸**を経由して、**都内のスーパーで小売販売**されるケースを**事例的に調査**。




注１：各段階のコストの数値は、「令和５年度適正取引推進に向けた調査（コスト等に関する調査）」（農林水産省委託事業）を基に作成。当該調査では、首都圏向けに流通するもののコスト構造を事例的に調査。
注２：生産段階は令和４年産米の生産費統計の北海道・東北管内の生産費のうち費用合計、支払利子、支払地代から算出。集荷（地域段階）は北海道・東北管内のJA、集荷（都道府県段階）は系統都道府県組織を対象としたアンケート調査、卸売段階は首都圏を商圏とする複数の米卸を対象としたアンケート調査、小売のコストとマージンは都内を商圏とする小売事業者を対象としたアンケート調査結果を基にした。
注3：：四捨五入の関係で、合計しても合わないことがある。

# 米のコスト構造の各段階内訳（北海道・東北産その１）

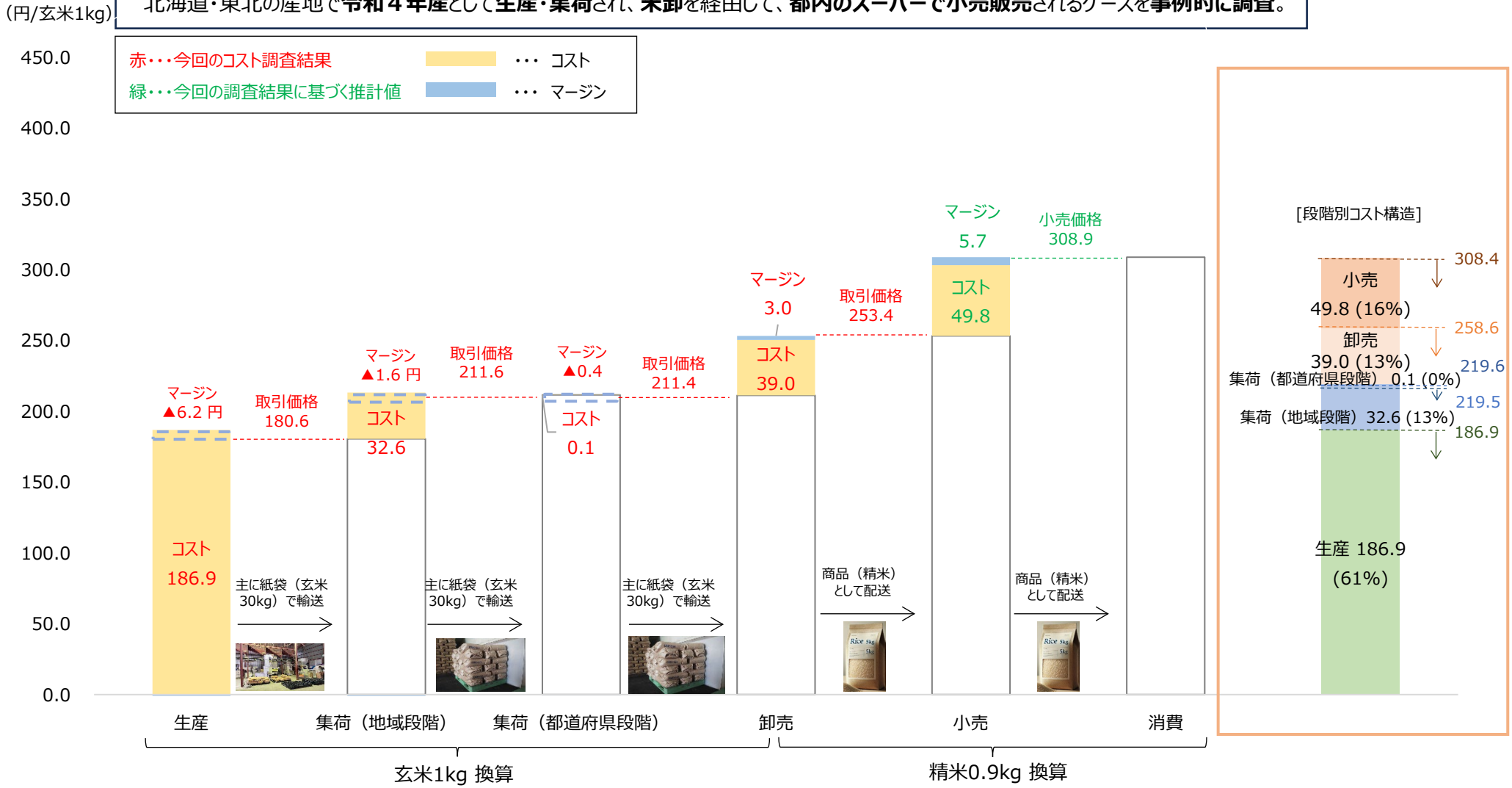
【調査の概要】
北海道・東北の産地で令和４年産として生産・集荷され、米卸を経由して、都内のスーパーで小売販売されるケースを事例的に調査。
【留意事項】
- 売り手（販売価格）と買い手（仕入価格）で当該産地・銘柄の回答結果（取引価格）が異なる場合、両者の平均値を取引価格とする等の補正を行っている。
- コスト・マージン、取引価格については、基本的には令和４年産米の仕入・販売価格及び当該取扱に伴い生じるコストを調査・集計しているが、卸売段階と小売段階のコスト・マージンについては令和５年度を対象に調査した結果である。また、米卸は同一年度に複数産地・複数年産の米を取り扱う（当該卸が取り扱う米（全年産・産地・銘柄）のコストは一律に同値と仮定している）等の仮定を置いて算出しており 、コスト・マージンを各年産・産地・銘柄・用途毎に正確に割り当てているものではない。
- そのため、用途や性質等による価格戦略の違い（小売用NB、小売用PB、業務用等）を考慮せず、一律に販売価格、コストを算出していることや、実際の取引においては、売り手から買い手に対して、販売促進費や各種協賛金等を別途支払っている場合もあるが、今回の調査ではそれらを把握できていない等に留意が必要。

（単位）円/玄米１kg

| 生産段階 | | 集荷（地域段階） | | 集荷（都道府県段階） | | 卸売 | | 小売 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 物財費 | 125.7 | 保管料・入出庫料 | 1.9 | 保管料・入出庫料 | 0.0 | 製造原価 | 12.4 | 輸送費 | 6.1 |
| うち種苗費 | 2.9 | 運賃 | 0.0 | 運賃 | 11.1 | うち横持運賃 | 0.5 | 人件費 | 27.4 |
| 肥料費 | 16.0 | 集約保管等経費 | 0.2 | 集約保管等経費 | 1.5 | 原料保管料 | 0.4 | 水道光熱費 | 2.8 |
| 農業薬剤費（購入） | 12.6 | 安心安全等検査費用 | 0.1 | 安心安全等検査費用 | 0.0 | 包装容器代 | 3.1 | その他経費 | 20.8 |
| 光熱動力費 | 9.8 | その他、流通保管に係る経費 | 0.2 | その他、流通保管に係る経費 | 1.0 | 地代家賃・貸借料 | 0.5 | | |
| その他の諸材料費 | 7.0 | 集荷・販売等に係る経費 | 0.8 | 集荷・販売等に係る経費 | 0.0 | 水道光熱費 | 1.6 | | |
| 土地改良及び水利費 | 9.3 | 農産物検査手数料 | 1.0 | 農産物検査手数料 | 0.0 | その他、製造原価 | 6.3 | | |
| 賃借料及び料金 | 18.5 | 集荷・販売にかかるその他経費 | 0.0 | 集荷・販売にかかるその他経費 | -0.5 | 販売費および一般管理費 | 19.7 | | |
| 物件税及び公課諸負担 | 3.6 | 米穀事業に関する部署・施設におけるコスト | 2.4 | 米穀事業に関する部署・施設おける事務費 | 3.3 | うち輸送費 | 9.6 | | |
| 建物費 | 4.8 | うち水道光熱費 | 0.5 | | | 商品保管料 | 0.5 | | |
| 自動車費 | 3.6 | 減価償却費 | 0.1 | | | 人件費 | 5.8 | | |
| 農機具費 | 36.7 | 修繕費 | 0.1 | | | 減価償却費 | 1.0 | | |
| 生産管理費 | 0.9 | 人件費 | 1.7 | | | その他、販売管理費 | 2.9 | | |
| 労働費 | 43.3 | | | | | | | | |
| 支払利子 | 0.7 | | | | | | | | |
| 支払地代 | 4.1 | | | | | | | | |
| 合計 | 173.8 | 合計 | 6.5 | 合計 | 16.4 | 合計 | 32.1 | 合計 | 57.1 |

# 米（北海道・東北産その２）のコスト調査結果

【調査の概要】
北海道・東北の産地で**令和４年産**として**生産・集荷**され、**米卸**を経由して、**都内のスーパーで小売販売**されるケースを**事例的に調査**。




注１：各段階のコストの数値は、「令和５年度適正取引推進に向けた調査（コスト等に関する調査）」（農林水産省委託事業）を基に作成。当該調査では、首都圏向けに流通するもののコスト構造を事例的に調査。
注２：生産段階は令和４年産米の生産費統計の北海道・東北管内の生産費のうち費用合計、支払利子、支払地代から算出。集荷（地域段階）は北海道・東北管内のJA、集荷（都道府県段階）は系統都道府県組織を対象としたアンケート調査、卸売段階は首都圏を商圏とする複数の米卸を対象としたアンケート調査、小売のコストとマージンは都内を商圏とする小売事業者を対象としたアンケート調査結果を基にした。
注３：四捨五入の関係で、合計しても合わないことがある。

# 米のコスト構造の各段階内訳（北海道・東北産その２）

【調査の概要】
北海道・東北の産地で令和４年産として生産・集荷され、米卸を経由して、都内のスーパーで小売販売されるケースを事例的に調査。

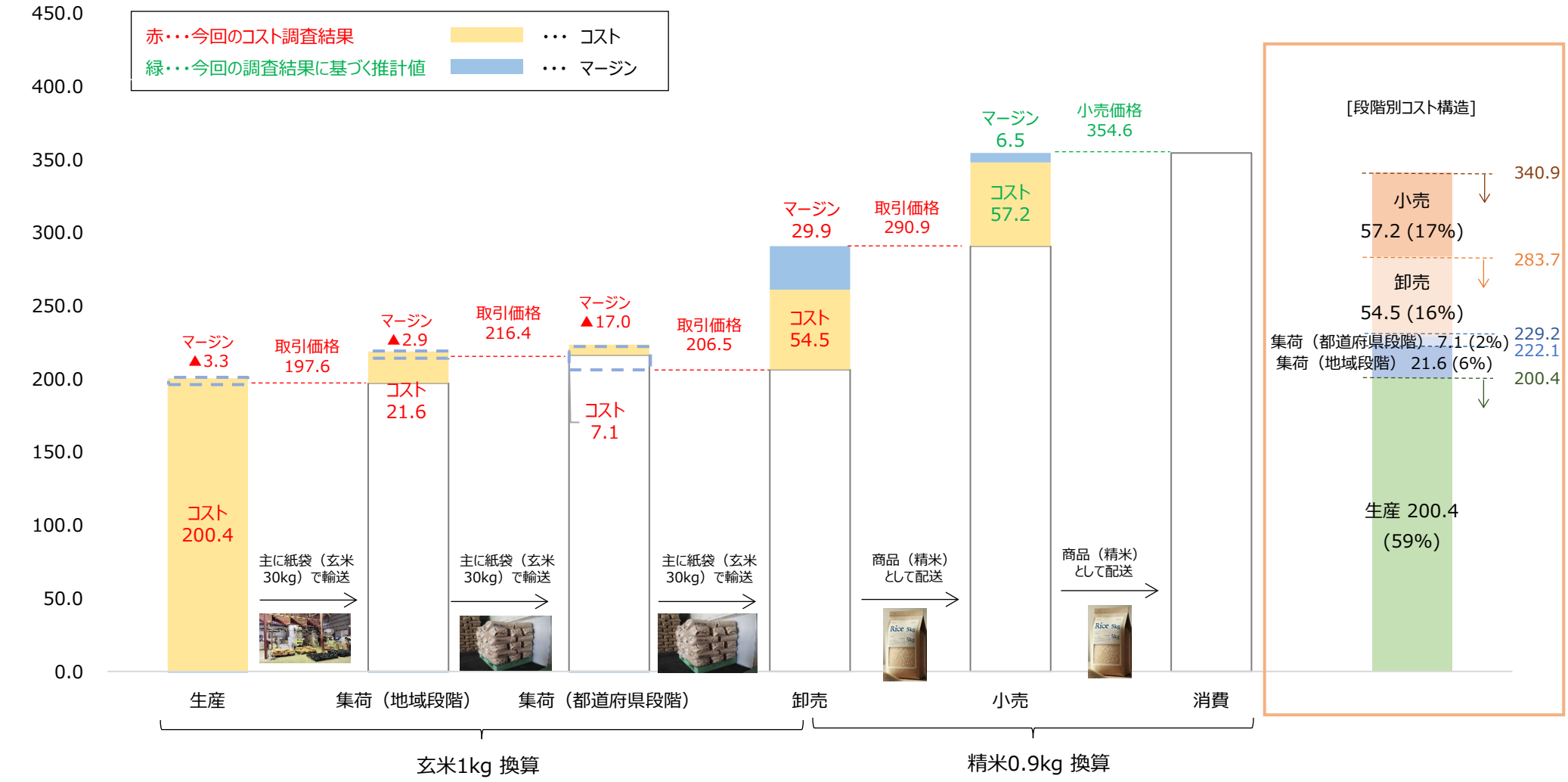
【留意事項】
- 売り手（販売価格）と買い手（仕入価格）で当該産地・銘柄の回答結果（取引価格）が異なる場合、両者の平均値を取引価格とする等の補正を行っている。
- コスト・マージン、取引価格については、基本的には令和４年産米の仕入・販売価格及び当該取扱に伴い生じるコストを調査・集計しているが、卸売段階と小売段階のコスト・マージンについては令和５年度を対象に調査した結果である。また、米卸は同一年度に複数産地・複数年産の米を取り扱う（当該卸が取り扱う米（全年産・産地・銘柄）のコストは一律に同値と仮定している）等の仮定を置いて算出しており 、コスト・マージンを各年産・産地・銘柄・用途毎に正確に割り当てているものではない。
- そのため、用途や性質等による価格戦略の違い（小売用NB、小売用PB、業務用等）を考慮せず、一律に販売価格、コストを算出していることや、実際の取引においては、売り手から買い手に対して、販売促進費や各種協賛金等を別途支払っている場合もあるが、今回の調査ではそれらを把握できていない等に留意が必要。

（単位）円/玄米１kg

| 生産段階 | | 集荷（地域段階） | | 集荷（都道府県段階） | | 卸売 | | 小売 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 物財費 | 133.7 | 保管料・入出庫料 | 8.3 | 保管料・入出庫料 | 0.0 | 製造原価 | 15.1 | 輸送費 | 5.3 |
| うち種苗費 | 4.7 | 運賃 | 4.1 | 運賃 | 0.0 | うち横持運賃 | 0.6 | 人件費 | 23.9 |
| 肥料費 | 21.1 | 集約保管等経費 | 3.5 | 集約保管等経費 | 0.0 | 原料保管料 | 0.5 | 水道光熱費 | 2.5 |
| 農業薬剤費 | 9.6 | 安心安全等検査費用 | 0.0 | 安心安全等検査費用 | 0.0 | 包装容器代 | 3.8 | その他経費 | 18.2 |
| 光熱動力費 | 8.8 | その他、流通保管に係る経費 | -0.4 | その他、流通保管に係る経費 | 0.0 | 地代家賃・貸借料 | 0.6 | | |
| その他の諸材料費 | 2.8 | 集荷・販売等に係る経費 | 3.4 | 集荷・販売等に係る経費 | 0.0 | 水道光熱費 | 1.9 | | |
| 土地改良及び水利費 | 6.6 | 農産物検査手数料 | 1.3 | 農産物検査手数料 | 0.0 | その他、製造原価 | 7.7 | | |
| 賃借料及び料金 | 27.3 | 集荷・販売にかかるその他経費 | 0.5 | 集荷・販売にかかるその他経費 | 0.0 | 販売費および一般管理費 | 23.9 | | |
| 物件税及び公課諸負担 | 3.8 | 部署・施設おける全体のコスト | 11.9 | 米穀事業に関する部署・施設おける事務費 | 0.0 | うち輸送費 | 11.6 | | |
| 建物費 | 8.1 | うち水道光熱費 | 4.7 | | | 商品保管料 | 0.6 | | |
| 自動車費 | 6.0 | 減価償却費 | 3.9 | | | 人件費 | 7.1 | | |
| 農機具費 | 34.1 | 修繕費 | 1.2 | | | 減価償却費 | 1.2 | | |
| 生産管理費 | 0.7 | 人件費 | 2.0 | | | その他、販売管理費 | 3.5 | | |
| 労働費 | 41.8 | | | | | | | | |
| 支払利子 | 0.4 | | | | | | | | |
| 支払地代 | 11.0 | | | | | | | | |
| 合計 | 186.9 | 合計 | 32.6 | 合計 | 0.1 | 合計 | 39.0 | 合計 | 49.8 |

# 米（北海道・東北産その３）のコスト調査結果

【調査の概要】
北海道・東北の産地で**令和４年産**として**生産・集荷**され、**米卸**を経由して、**都内のスーパーで小売販売**されるケースを**事例的に調査**。




注１：各段階のコストの数値は、「令和５年度適正取引推進に向けた調査（コスト等に関する調査）」（農林水産省委託事業）を基に作成。当該調査では、首都圏向けに流通するもののコスト構造を事例的に調査。
注２：生産段階は令和４年産米の生産費統計の北海道・東北管内の生産費のうち費用合計、支払利子、支払地代から算出。集荷（地域段階）は北海道・東北管内のJA、集荷（都道府県段階）は系統都道府県組織を対象としたアンケート調査、卸売段階は首都圏を商圏とする複数の米卸を対象としたアンケート調査、小売のコストとマージンは都内を商圏とする小売事業者を対象としたアンケート調査結果を基にした。
注３：四捨五入の関係で、合計しても合わないことがある。

# 米のコスト構造の各段階内訳（北海道・東北産その３）

【調査の概要】
北海道・東北の産地で令和４年産として生産・集荷され、米卸を経由して、都内のスーパーで小売販売されるケースを事例的に調査。

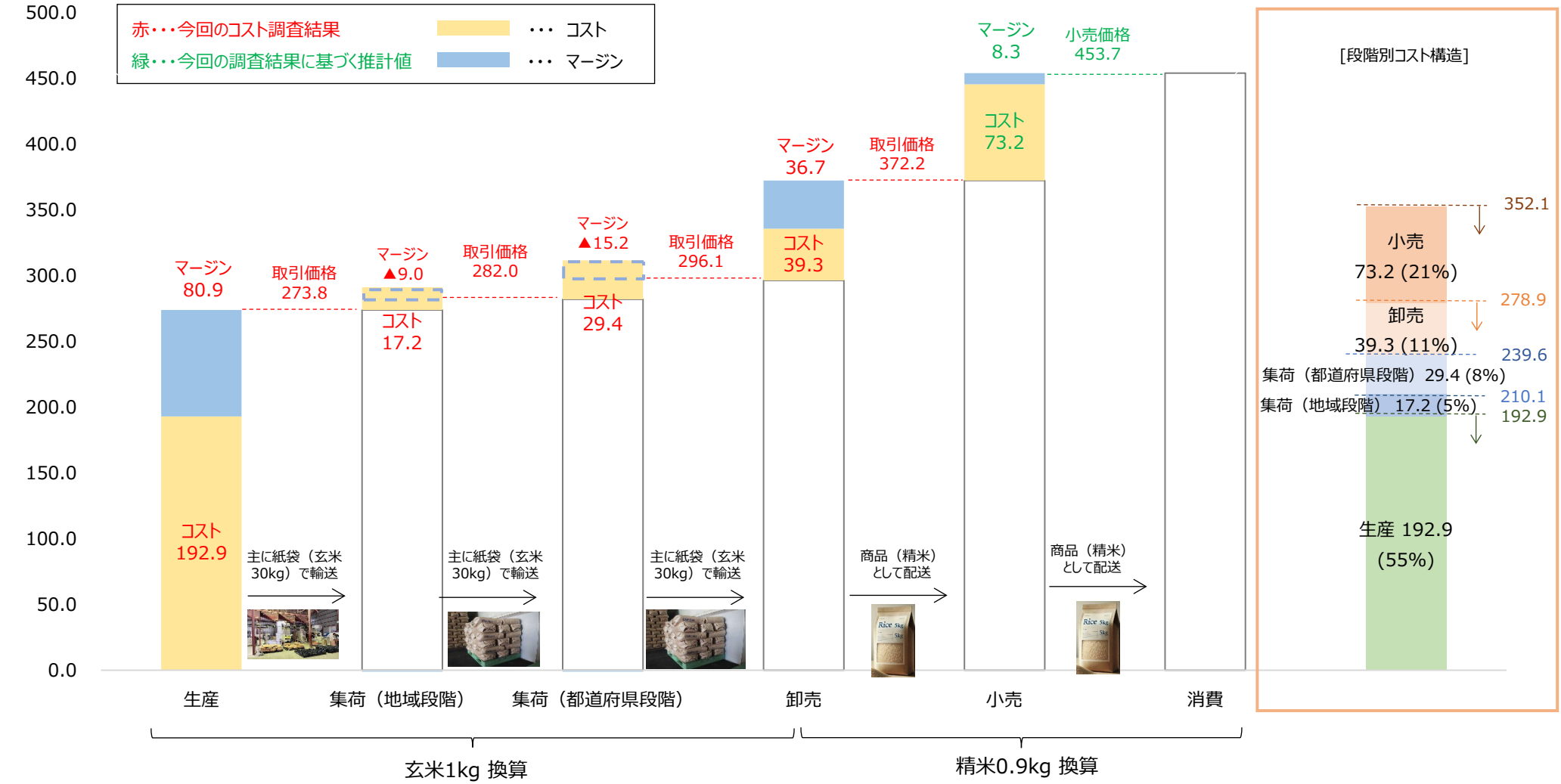
【留意事項】
- 売り手（販売価格）と買い手（仕入価格）で当該産地・銘柄の回答結果（取引価格）が異なる場合、両者の平均値を取引価格とする等の補正を行っている。
- コスト・マージン、取引価格については、基本的には令和４年産米の仕入・販売価格及び当該取扱に伴い生じるコストを調査・集計しているが、卸売段階と小売段階のコスト・マージンについては令和５年度を対象に調査した結果である。また、米卸は同一年度に複数産地・複数年産の米を取り扱う（当該卸が取り扱う米（全年産・産地・銘柄）のコストは一律に同値と仮定している）等の仮定を置いて算出しており 、コスト・マージンを各年産・産地・銘柄・用途毎に正確に割り当てているものではない。
- そのため、用途や性質等による価格戦略の違い（小売用NB、小売用PB、業務用等）を考慮せず、一律に販売価格、コストを算出していることや、実際の取引においては、売り手から買い手に対して、販売促進費や各種協賛金等を別途支払っている場合もあるが、今回の調査ではそれらを把握できていない等に留意が必要。

（単位）円/玄米１kg

| 生産段階 | | 集荷（地域段階） | | 集荷（都道府県段階） | | 卸売 | | 小売 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 物財費 | 133.9 | 保管料・入出庫料 | 0.8 | 保管料・入出庫料 | 0.9 | 製造原価 | 20.7 | 輸送費 | 7.9 |
| うち種苗費 | 4.1 | 運賃 | 0.3 | 運賃 | 0.4 | うち横持運賃 | 0.5 | 人件費 | 35.7 |
| 肥料費 | 15.1 | 集約保管等経費 | 0.0 | 集約保管等経費 | 0.1 | 原料保管料 | 0.7 | 水道光熱費 | 3.7 |
| 農業薬剤費 | 16.6 | 安心安全等検査費用 | 1.2 | 安心安全等検査費用 | 0.0 | 包装容器代 | 5.2 | その他経費 | 27.1 |
| 光熱動力費 | 9.9 | その他、流通保管に係る経費 | 0.4 | その他、流通保管に係る経費 | 0.1 | 地代家賃・貸借料 | 0.8 | | |
| その他の諸材料費 | 3.7 | 集荷・販売等に係る経費 | 0.1 | 集荷・販売等に係る経費 | 0.4 | 水道光熱費 | 2.7 | | |
| 土地改良及び水利費 | 9.8 | 農産物検査手数料 | 7.6 | 農産物検査手数料 | 0.0 | その他、製造原価 | 10.8 | | |
| 賃借料及び料金 | 26.6 | 集荷・販売にかかるその他経費 | 1.4 | 集荷・販売にかかるその他経費 | 0.4 | 販売費および一般管理費 | 33.3 | | |
| 物件税及び公課諸負担 | 2.8 | 部署・施設おける全体のコスト | 26.2 | 米穀事業に関する部署・施設おける事務費 | 0.3 | うち輸送費 | 16.2 | | |
| 建物費 | 7.1 | うち水道光熱費 | 5.4 | | | 商品保管料 | 0.8 | | |
| 自動車費 | 2.9 | 減価償却費 | 7.2 | | | 人件費 | 9.9 | | |
| 農機具費 | 34.4 | 修繕費 | 1.9 | | | 減価償却費 | 1.6 | | |
| 生産管理費 | 0.9 | 人件費 | 11.7 | | | その他、販売管理費 | 4.8 | | |
| 労働費 | 56.5 | | | | | | | | |
| 支払利子 | 0.1 | | | | | | | | |
| 支払地代 | 9.9 | | | | | | | | |
| 合計 | 200.4 | 合計 | 37.9 | 合計 | 2.8 | 合計 | 54.1 | 合計 | 74.3 |

# 米（北海道・東北産その４）のコスト調査結果

【調査の概要】
北海道・東北の産地で**令和４年産**として**生産・集荷**され、**米卸**を経由して、**都内のスーパーで小売販売**されるケースを**事例的に調査**。




注１：各段階のコストの数値は、「令和５年度適正取引推進に向けた調査（コスト等に関する調査）」（農林水産省委託事業）を基に作成。当該調査では、首都圏向けに流通するもののコスト構造を事例的に調査。
注２：生産段階は令和４年産米の生産費統計の北海道・東北管内の生産費のうち費用合計、支払利子、支払地代から算出。集荷（地域段階）は北海道・東北管内のJA、集荷（都道府県段階）は系統都道府県組織を対象としたアンケート調査、卸売段階は首都圏を商圏とする複数の米卸を対象としたアンケート調査、小売のコストとマージンは都内を商圏とする小売事業者を対象としたアンケート調査結果を基にした。
注３：四捨五入の関係で、合計しても合わないことがある。

# 米のコスト構造の各段階内訳（北海道・東北産その４）

【調査の概要】
北海道・東北の産地で令和４年産として生産・集荷され、米卸を経由して、都内のスーパーで小売販売されるケースを事例的に調査。

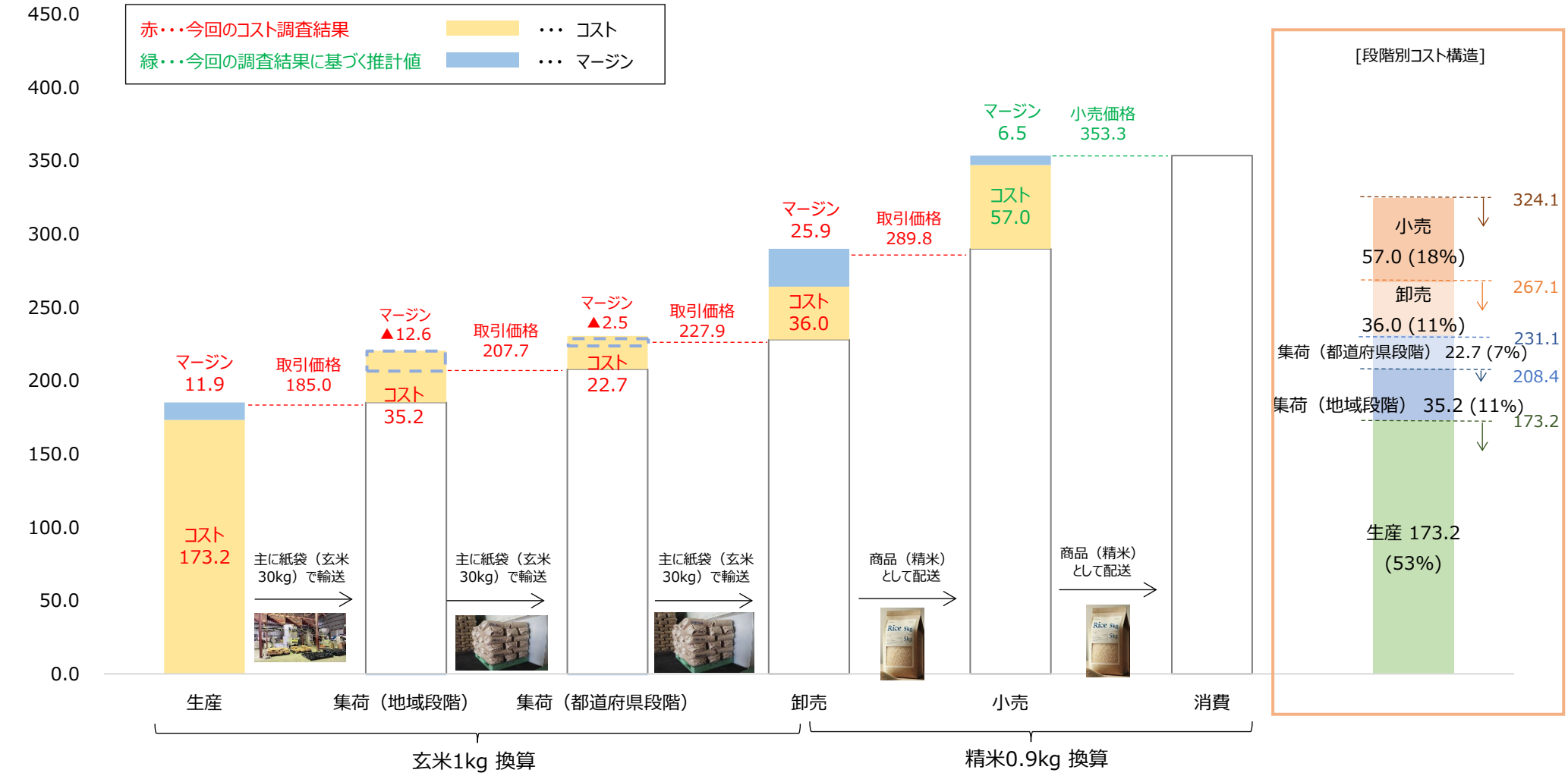
【留意事項】
- 売り手（販売価格）と買い手（仕入価格）で当該産地・銘柄の回答結果（取引価格）が異なる場合、両者の平均値を取引価格とする等の補正を行っている。
- コスト・マージン、取引価格については、基本的には令和４年産米の仕入・販売価格及び当該取扱に伴い生じるコストを調査・集計しているが、卸売段階と小売段階のコスト・マージンについては令和５年度を対象に調査した結果である。また、米卸は同一年度に複数産地・複数年産の米を取り扱う（当該卸が取り扱う米（全年産・産地・銘柄）のコストは一律に同値と仮定している）等の仮定を置いて算出しており 、コスト・マージンを各年産・産地・銘柄・用途毎に正確に割り当てているものではない。
- そのため、用途や性質等による価格戦略の違い（小売用NB、小売用PB、業務用等）を考慮せず、一律に販売価格、コストを算出していることや、実際の取引においては、売り手から買い手に対して、販売促進費や各種協賛金等を別途支払っている場合もあるが、今回の調査ではそれらを把握できていない等に留意が必要。

（単位）円/玄米１kg

| 生産段階 | | 集荷（地域段階） | | 集荷（都道府県段階） | | 卸売 | | 小売 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 物財費 | 136.4 | 保管料・入出庫料 | 4.9 | 保管料・入出庫料 | 8.8 | 製造原価 | 15.2 | 輸送費 | 7.8 |
| うち種苗費 | 4.5 | 運賃 | 2.6 | 運賃 | 6.3 | うち横持運賃 | 0.6 | 人件費 | 35.1 |
| 肥料費 | 21.4 | 集約保管等経費 | 0.0 | 集約保管等経費 | 2.6 | 原料保管料 | 0.5 | 水道光熱費 | 3.6 |
| 農業薬剤費 | 14.7 | 安心安全等検査費用 | 0.1 | 安心安全等検査費用 | 0.1 | 包装容器代 | 3.8 | その他経費 | 26.7 |
| 光熱動力費 | 10.4 | その他、流通保管に係る経費 | 0.4 | その他、流通保管に係る経費 | 2.2 | 地代家賃・貸借料 | 0.6 | | |
| その他の諸材料費 | 4.3 | 集荷・販売等に係る経費 | 0.1 | 集荷・販売等に係る経費 | 2.3 | 水道光熱費 | 1.9 | | |
| 土地改良及び水利費 | 9.1 | 農産物検査手数料 | 0.9 | 農産物検査手数料 | 0.0 | その他、製造原価 | 7.8 | | |
| 賃借料及び料金 | 18.8 | 集荷・販売にかかるその他経費 | 3.3 | 集荷・販売にかかるその他経費 | 5.2 | 販売費および一般管理費 | 24.1 | | |
| 物件税及び公課諸負担 | 3.5 | 部署・施設おける全体のコスト | 5.0 | 米穀事業に関する部署・施設おける事務費 | 1.9 | うち輸送費 | 11.7 | | |
| 建物費 | 5.6 | うち水道光熱費 | 1.5 | | | 商品保管料 | 0.6 | | |
| 自動車費 | 4.4 | 減価償却費 | 2.3 | | | 人件費 | 7.1 | | |
| 農機具費 | 39.1 | 修繕費 | 0.7 | | | 減価償却費 | 1.2 | | |
| 生産管理費 | 0.9 | 人件費 | 0.4 | | | その他、販売管理費 | 3.5 | | |
| 労働費 | 47.1 | | | | | | | | |
| 支払利子 | 0.6 | | | | | | | | |
| 支払地代 | 8.8 | | | | | | | | |
| 合計 | 192.9 | 合計 | 17.2 | 合計 | 700.2 | 合計 | 39.3 | 合計 | 73.2 |

# 米（北海道・東北産その５）のコスト調査結果

【調査の概要】
北海道・東北の産地で**令和４年産**として**生産・集荷**され、**米卸**を経由して、**都内のスーパーで小売販売**されるケースを**事例的に調査**。




注１：各段階のコストの数値は、「令和５年度適正取引推進に向けた調査（コスト等に関する調査）」（農林水産省委託事業）を基に作成。当該調査では、首都圏向けに流通するもののコスト構造を事例的に調査。
注２：生産段階は令和４年産米の生産費統計の北海道・東北管内の生産費のうち費用合計、支払利子、支払地代から算出。集荷（地域段階）は北海道・東北管内のJA、集荷（都道府県段階）は系統都道府県組織を対象としたアンケート調査、卸売段階は首都圏を商圏とする複数の米卸を対象としたアンケート調査、小売のコストとマージンは都内を商圏とする小売事業者を対象としたアンケート調査結果を基にした。
注３：四捨五入の関係で、合計しても合わないことがある。

# 米のコスト構造の各段階内訳（北海道・東北産その５）

【調査の概要】
北海道・東北の産地で令和４年産として生産・集荷され、米卸を経由して、都内のスーパーで小売販売されるケースを事例的に調査。

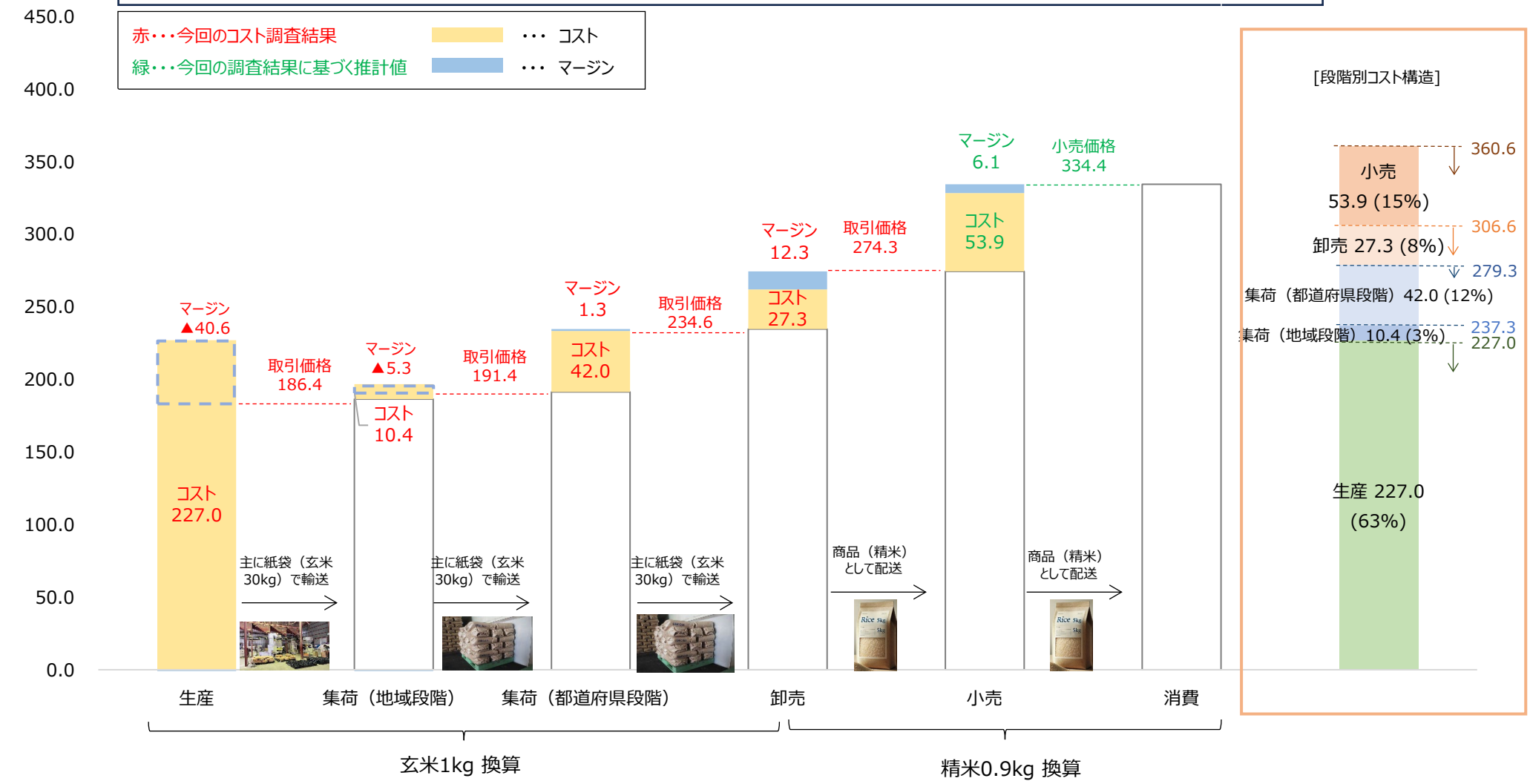
【留意事項】
- 売り手（販売価格）と買い手（仕入価格）で当該産地・銘柄の回答結果（取引価格）が異なる場合、両者の平均値を取引価格とする等の補正を行っている。
- コスト・マージン、取引価格については、基本的には令和４年産米の仕入・販売価格及び当該取扱に伴い生じるコストを調査・集計しているが、卸売段階と小売段階のコスト・マージンについては令和５年度を対象に調査した結果である。また、米卸は同一年度に複数産地・複数年産の米を取り扱う（当該卸が取り扱う米（全年産・産地・銘柄）のコストは一律に同値と仮定している）等の仮定を置いて算出しており 、コスト・マージンを各年産・産地・銘柄・用途毎に正確に割り当てているものではない。
- そのため、用途や性質等による価格戦略の違い（小売用NB、小売用PB、業務用等）を考慮せず、一律に販売価格、コストを算出していることや、実際の取引においては、売り手から買い手に対して、販売促進費や各種協賛金等を別途支払っている場合もあるが、今回の調査ではそれらを把握できていない等に留意が必要。

（単位）円/玄米１kg

| 生産段階 | | 集荷（地域段階） | | 集荷（都道府県段階） | | 卸売 | | 小売 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 物財費 | 120.8 | 保管料・入出庫料 | 5.6 | 保管料・入出庫料 | 7.3 | 製造原価 | 14.0 | 輸送費 | 6.1 |
| うち種苗費 | 5.1 | 運賃 | 3.5 | 運賃 | 7.3 | うち横持運賃 | 0.6 | 人件費 | 27.3 |
| 肥料費 | 15.2 | 集約保管等経費 | 0.8 | 集約保管等経費 | 1.1 | 原料保管料 | 0.5 | 水道光熱費 | 2.8 |
| 農業薬剤費 | 15.9 | 安心安全等検査費用 | 0.2 | 安心安全等検査費用 | 0.2 | 包装容器代 | 3.5 | その他経費 | 20.8 |
| 光熱動力費 | 10.3 | その他、流通保管に係る経費 | 0.8 | その他、流通保管に係る経費 | 1.7 | 地代家賃・貸借料 | 0.6 | | |
| その他の諸材料費 | 2.4 | 集荷・販売等に係る経費 | 4.9 | 集荷・販売等に係る経費 | 3.3 | 水道光熱費 | 1.8 | | |
| 土地改良及び水利費 | 7.5 | 農産物検査手数料 | 0.7 | 農産物検査手数料 | 0.0 | その他、製造原価 | 7.1 | | |
| 賃借料及び料金 | 15.5 | 集荷・販売にかかるその他経費 | 7.2 | 集荷・販売にかかるその他経費 | 1.8 | 販売費および一般管理費 | 22.1 | | |
| 物件税及び公課諸負担 | 2.5 | 部署・施設おける全体のコスト | 11.4 | 米穀事業に関する部署・施設おける事務費 | 0.0 | うち輸送費 | 10.7 | | |
| 建物費 | 4.5 | うち水道光熱費 | 1.2 | | | 商品保管料 | 0.5 | | |
| 自動車費 | 5.3 | 減価償却費 | 4.4 | | | 人件費 | 6.5 | | |
| 農機具費 | 35.7 | 修繕費 | 0.5 | | | 減価償却費 | 1.1 | | |
| 生産管理費 | 0.8 | 人件費 | 5.3 | | | その他、販売管理費 | 3.2 | | |
| 労働費 | 45.3 | | | | | | | | |
| 支払利子 | 0.3 | | | | | | | | |
| 支払地代 | 6.8 | | | | | | | | |
| 合計 | 173.2 | 合計 | 35.2 | 合計 | 22.7 | 合計 | 36.0 | 合計 | 57.0 |

# 米（関東産）のコスト調査結果

【調査の概要】
関東の産地で**令和４年産**として**生産・集荷**され、**米卸**を経由して、**都内のスーパーで小売販売**されるケースを**事例的に調査**。




注１：各段階のコストの数値は、「令和５年度適正取引推進に向けた調査（コスト等に関する調査）」（農林水産省委託事業）を基に作成。当該調査では、首都圏向けに流通するもののコスト構造を事例的に調査。
注２：生産段階は令和４年産米の生産費統計の関東管内の60kg当たり生産費のうち費用合計、支払利子、支払地代から算出。集荷（地域段階）は関東管内のJA、集荷（都道府県段階）は系統都道府県組織を対象としたアンケート調査、卸売段階は首都圏を商圏とする複数の米卸を対象としたアンケート調査、小売のコストとマージンは都内を商圏とする小売事業者を対象としたアンケート調査結果を基にした。
注３：四捨五入の関係で、合計しても合わないことがある。

# 米のコスト構造の各段階内訳（関東産）

【調査の概要】
関東の産地で令和４年産として生産・集荷され、米卸を経由して、都内のスーパーで小売販売されるケースを事例的に調査。

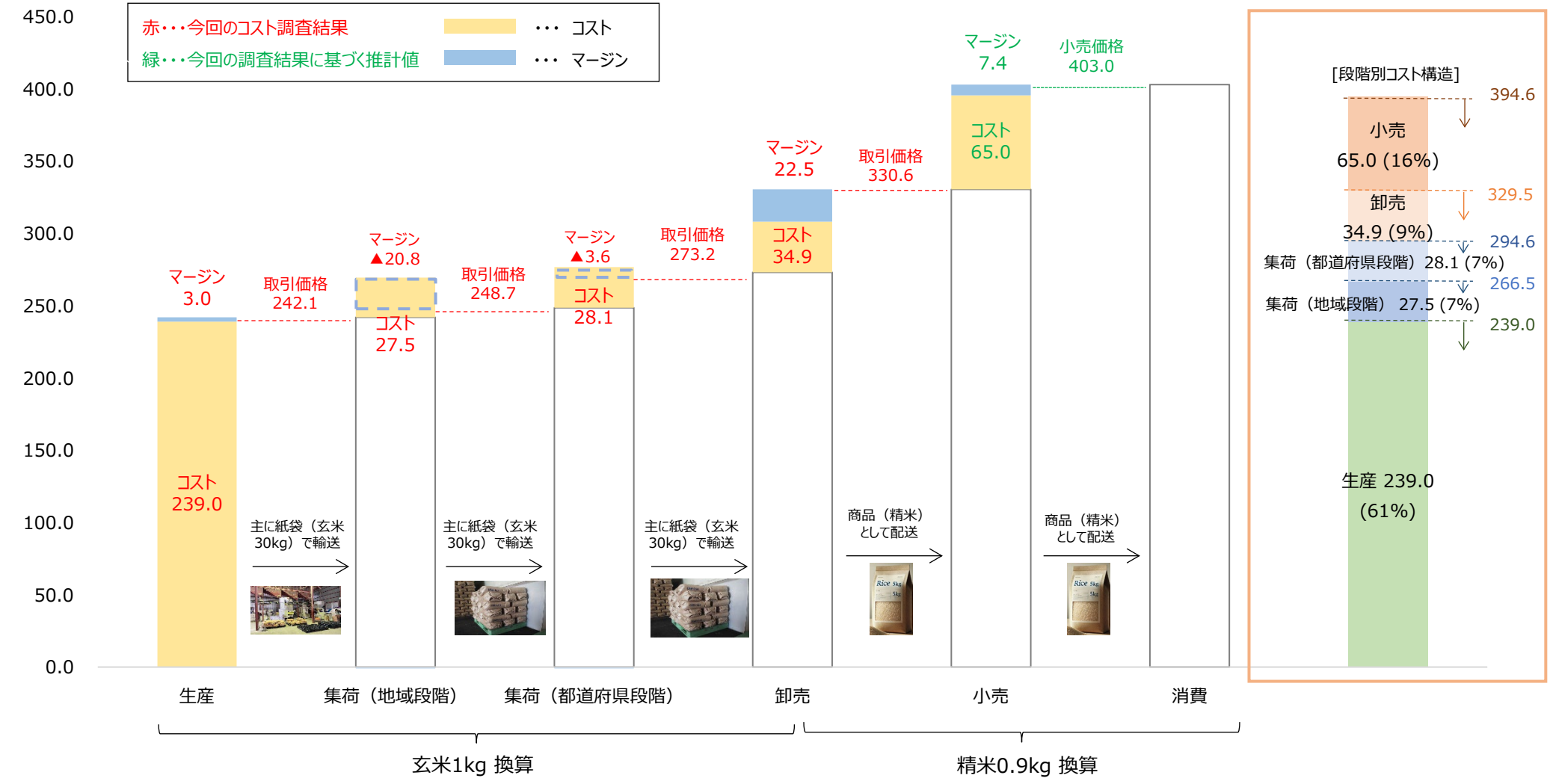
【留意事項】
- 売り手（販売価格）と買い手（仕入価格）で当該産地・銘柄の回答結果（取引価格）が異なる場合、両者の平均値を取引価格とする等の補正を行っている。
- コスト・マージン、取引価格については、基本的には令和４年産米の仕入・販売価格及び当該取扱に伴い生じるコストを調査・集計しているが、卸売段階と小売段階のコスト・マージンについては令和５年度を対象に調査した結果である。また、米卸は同一年度に複数産地・複数年産の米を取り扱う（当該卸が取り扱う米（全年産・産地・銘柄）のコストは一律に同値と仮定している）等の仮定を置いて算出しており 、コスト・マージンを各年産・産地・銘柄・用途毎に正確に割り当てているものではない。
- そのため、用途や性質等による価格戦略の違い（小売用NB、小売用PB、業務用等）を考慮せず、一律に販売価格、コストを算出していることや、実際の取引においては、売り手から買い手に対して、販売促進費や各種協賛金等を別途支払っている場合もあるが、今回の調査ではそれらを把握できていない等に留意が必要。

（単位）円/玄米１kg

| 生産段階 | | 集荷（地域段階） | | 集荷（都道府県段階） | | 卸売 | | 小売 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 物財費 | 144.5 | 保管料・入出庫料 | 1.1 | 保管料・入出庫料 | 12.6 | 製造原価 | 10.6 | 輸送費 | 5.7 |
| うち種苗費 | 7.5 | 運賃 | 0.0 | 運賃 | 3.9 | うち横持運賃 | 0.4 | 人件費 | 25.9 |
| 肥料費 | 20.7 | 集約保管等経費 | 0.0 | 集約保管等経費 | 2.3 | 原料保管料 | 0.4 | 水道光熱費 | 2.7 |
| 農業薬剤費 | 14.2 | 安心安全等検査費用 | 0.0 | 安心安全等検査費用 | 0.1 | 包装容器代 | 2.6 | その他経費 | 19.7 |
| 光熱動力費 | 13.2 | その他、流通保管に係る経費 | 0.3 | その他、流通保管に係る経費 | 2.8 | 地代家賃・貸借料 | 0.4 | | |
| その他の諸材料費 | 3.2 | 集荷・販売等に係る経費 | 2.0 | 集荷・販売等に係る経費 | 1.4 | 水道光熱費 | 1.3 | | |
| 土地改良及び水利費 | 4.9 | 農産物検査手数料 | 0.4 | 農産物検査手数料 | 0.0 | その他、製造原価 | 5.4 | | |
| 賃借料及び料金 | 15.5 | 集荷・販売にかかるその他経費 | 0.0 | 集荷・販売にかかるその他経費 | 17.7 | 販売費および一般管理費 | 16.7 | | |
| 物件税及び公課諸負担 | 3.3 | 部署・施設おける全体のコスト | 6.6 | 米穀事業に関する部署・施設おける事務費 | 1.2 | うち輸送費 | 8.1 | | |
| 建物費 | 8.3 | うち水道光熱費 | 2.3 | | | 商品保管料 | 0.4 | | |
| 自動車費 | 4.4 | 減価償却費 | 1.8 | | | 人件費 | 5.0 | | |
| 農機具費 | 48.7 | 修繕費 | 0.7 | | | 減価償却費 | 0.8 | | |
| 生産管理費 | 0.8 | 人件費 | 1.7 | | | その他、販売管理費 | 2.4 | | |
| 労働費 | 74.5 | | | | | | | | |
| 支払利子 | 0.0 | | | | | | | | |
| 支払地代 | 8.0 | | | | | | | | |
| 合計 | 227.0 | 合計 | 10.4 | 合計 | 42.0 | 合計 | 27.3 | 合計 | 53.9 |

# 米（北陸産）のコスト調査結果

【調査の概要】
北陸の産地で**令和４年産**として**生産・集荷**され、**米卸**を経由して、**都内のスーパーで小売販売**されるケースを**事例的に調査**。




注１：各段階のコストの数値は、「令和５年度適正取引推進に向けた調査（コスト等に関する調査）」（農林水産省委託事業）を基に作成。当該調査では、首都圏向けに流通するもののコスト構造を事例的に調査。
注２：生産段階は令和４年産米の生産費統計の北陸管内の60kg当たり生産費のうち費用合計、支払利子、支払地代から算出。集荷（地域段階）は北陸管内のJA、集荷（都道府県段階）は系統都道府県組織を対象としたアンケート調査、卸売段階は首都圏を商圏とする複数の米卸を対象としたアンケート調査、小売のコストとマージンは都内を商圏とする小売事業者を対象としたアンケート調査結果を基にした。
注３：四捨五入の関係で、合計しても合わないことがある。

# 米のコスト構造の各段階内訳（北陸産）

【調査の概要】
北陸の産地で令和４年産として生産・集荷され、米卸を経由して、都内のスーパーで小売販売されるケースを事例的に調査。

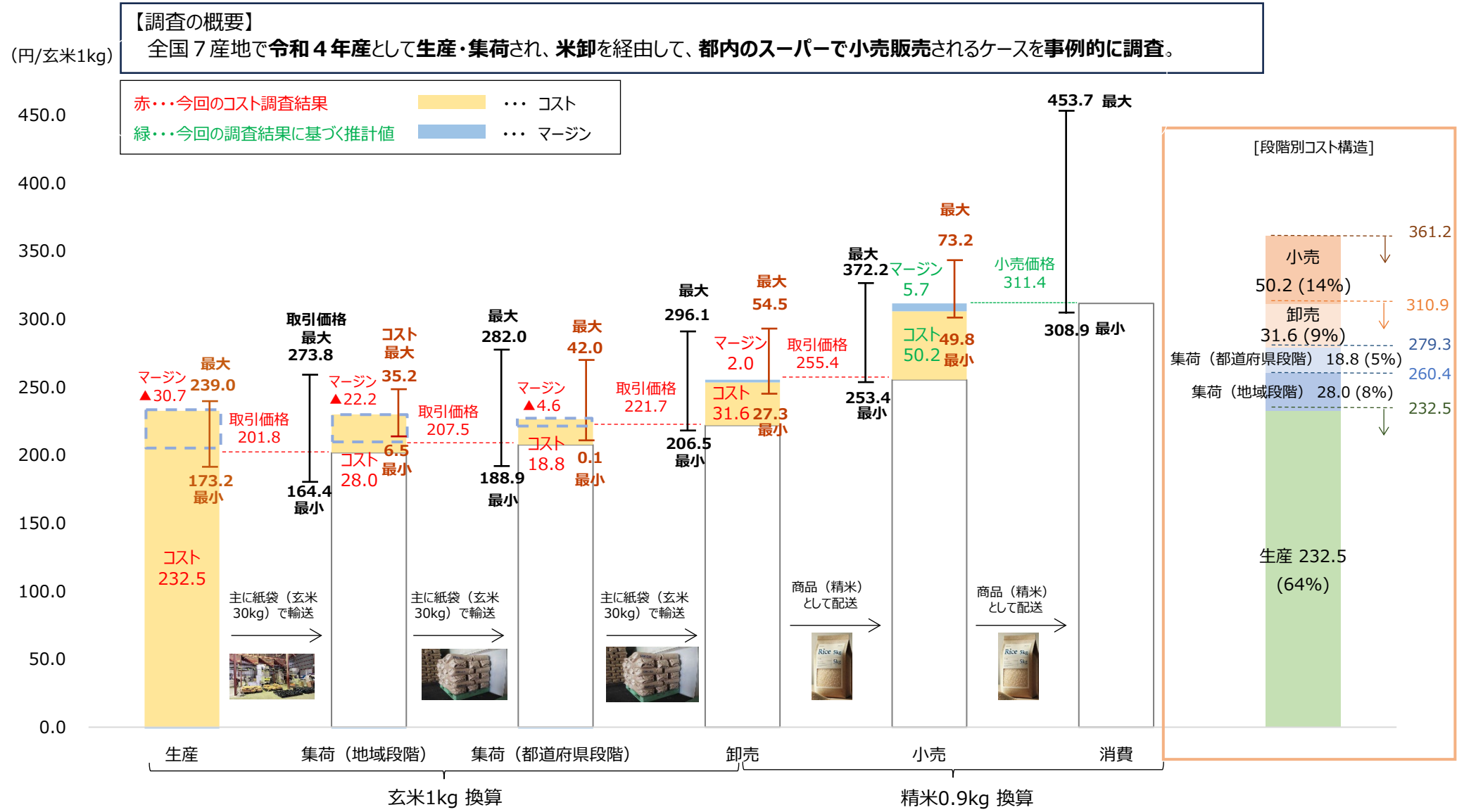
【留意事項】
- 売り手（販売価格）と買い手（仕入価格）で当該産地・銘柄の回答結果（取引価格）が異なる場合、両者の平均値を取引価格とする等の補正を行っている。
- コスト・マージン、取引価格については、基本的には令和４年産米の仕入・販売価格及び当該取扱に伴い生じるコストを調査・集計しているが、卸売段階と小売段階のコスト・マージンについては令和５年度を対象に調査した結果である。また、米卸は同一年度に複数産地・複数年産の米を取り扱う（当該卸が取り扱う米（全年産・産地・銘柄）のコストは一律に同値と仮定している）等の仮定を置いて算出しており 、コスト・マージンを各年産・産地・銘柄・用途毎に正確に割り当てているものではない。
- そのため、用途や性質等による価格戦略の違い（小売用NB、小売用PB、業務用等）を考慮せず、一律に販売価格、コストを算出していることや、実際の取引においては、売り手から買い手に対して、販売促進費や各種協賛金等を別途支払っている場合もあるが、今回の調査ではそれらを把握できていない等に留意が必要。

（単位）円/玄米１kg

| 生産段階 | | 集荷（地域段階） | | 集荷（都道府県段階） | | 卸売 | | 小売 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 物財費 | 171.9 | 保管料・入出庫料 | 5.8 | 保管料・入出庫料 | 11.0 | 製造原価 | 13.5 | 輸送費 | 6.9 |
| うち種苗費 | 12.9 | 運賃 | 1.2 | 運賃 | 8.9 | うち横持運賃 | 0.6 | 人件費 | 31.2 |
| 肥料費 | 19.4 | 集約保管等経費 | 0.0 | 集約保管等経費 | 2.4 | 原料保管料 | 0.5 | 水道光熱費 | 3.2 |
| 農業薬剤費 | 13.2 | 安心安全等検査費用 | 0.0 | 安心安全等検査費用 | 0.0 | 包装容器代 | 3.4 | その他経費 | 23.7 |
| 光熱動力費 | 10.2 | その他、流通保管に係る経費 | 1.3 | その他、流通保管に係る経費 | 1.2 | 地代家賃・貸借料 | 0.5 | | |
| その他の諸材料費 | 2.6 | 集荷・販売等に係る経費 | 1.7 | 集荷・販売等に係る経費 | 2.9 | 水道光熱費 | 1.7 | | |
| 土地改良及び水利費 | 14.1 | 農産物検査手数料 | 0.9 | 農産物検査手数料 | 0.0 | その他、製造原価 | 6.9 | | |
| 賃借料及び料金 | 37.4 | 集荷・販売にかかるその他経費 | 0.0 | 集荷・販売にかかるその他経費 | 0.1 | 販売費および一般管理費 | 21.4 | | |
| 物件税及び公課諸負担 | 3.9 | 部署・施設おける全体のコスト | 16.6 | 米穀事業に関する部署・施設おける事務費 | 1.6 | うち輸送費 | 10.4 | | |
| 建物費 | 9.6 | うち水道光熱費 | 3.4 | | | 商品保管料 | 0.5 | | |
| 自動車費 | 5.9 | 減価償却費 | 7.5 | | | 人件費 | 6.3 | | |
| 農機具費 | 41.8 | 修繕費 | 1.6 | | | 減価償却費 | 1.0 | | |
| 生産管理費 | 1.0 | 人件費 | 4.2 | | | その他、販売管理費 | 3.1 | | |
| 労働費 | 50.7 | | | | | | | | |
| 支払利子 | 0.4 | | | | | | | | |
| 支払地代 | 16.2 | | | | | | | | |
| 合計 | 239.0 | 合計 | 27.5 | 合計 | 28.1 | 合計 | 34.9 | 合計 | 65.0 |

# 米（全国平均）のコスト調査結果

【調査の概要】
全国７産地で**令和４年産**として**生産・集荷**され、**米卸**を経由して、**都内のスーパーで小売販売**されるケースを**事例的に調査**。




注１：各段階のコストの数値は、「令和５年度適正取引推進に向けた調査（コスト等に関する調査）」（農林水産省委託事業）を基に作成。当該調査では、首都圏向けに流通するもののコスト構造を事例的に調査。
注２：生産段階は令和４年産米の生産費統計の全国の60kg当たり生産費のうち費用合計、支払利子、支払地代から算出。集荷（地域段階）は全国７産地のJA、集荷（都道府県段階）は系統都道府県組織を対象としたアンケート調査、卸売段階は首都圏を商圏とする複数の米卸を対象としたアンケート調査、小売のコストとマージンは都内を商圏とする小売事業者を対象としたアンケート調査結果を基にした。
注３：四捨五入の関係で、合計しても合わないことがある。

# 米のコスト構造の各段階内訳（全国平均）

【調査の概要】
全国７産地で令和４年産として生産・集荷され、米卸を経由して、都内のスーパーで小売販売されるケースを事例的に調査。
【留意事項】
- 売り手（販売価格）と買い手（仕入価格）で当該産地・銘柄の回答結果（取引価格）が異なる場合、両者の平均値を取引価格とする等の補正を行っている。
- コスト・マージン、取引価格については、基本的には令和４年産米の仕入・販売価格及び当該取扱に伴い生じるコストを調査・集計しているが、卸売段階と小売段階のコスト・マージンについては令和５年度を対象に調査した結果である。また、米卸は同一年度に複数産地・複数年産の米を取り扱う（当該卸が取り扱う米（全年産・産地・銘柄）のコストは一律に同値と仮定している）等の仮定を置いて算出しており 、コスト・マージンを各年産・産地・銘柄・用途毎に正確に割り当てているものではない。
- そのため、用途や性質等による価格戦略の違い（小売用NB、小売用PB、業務用等）を考慮せず、一律に販売価格、コストを算出していることや、実際の取引においては、売り手から買い手に対して、販売促進費や各種協賛金等を別途支払っている場合もあるが、今回の調査ではそれらを把握できていない等に留意が必要。

（単位）円/玄米１kg

| 生産段階 | | 集荷（地域段階） | | 集荷（都道府県段階） | | 卸売 | | 小売 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 物財費 | 156.6 | 保管料・入出庫料 | 4.6 | 保管料・入出庫料 | 5.5 | 製造原価 | 12.3 | 輸送費 | 5.3 |
| うち種苗費 | 7.9 | 運賃 | 2.2 | 運賃 | 6.0 | うち横持運賃 | 0.5 | 人件費 | 24.1 |
| 肥料費 | 19.3 | 集約保管等経費 | 0.7 | 集約保管等経費 | 1.3 | 原料保管料 | 0.4 | 水道光熱費 | 2.5 |
| 農業薬剤費 | 15.1 | 安心安全等検査費用 | 0.1 | 安心安全等検査費用 | 0.1 | 包装容器代 | 3.0 | その他経費 | 18.3 |
| 光熱動力費 | 11.0 | その他、流通保管に係る経費 | 0.6 | その他、流通保管に係る経費 | 1.1 | 地代家賃・貸借料 | 0.5 | | |
| その他の諸材料費 | 3.8 | 集荷・販売等に係る経費 | 3.5 | 集荷・販売等に係る経費 | 1.8 | 水道光熱費 | 1.5 | | |
| 土地改良及び水利費 | 7.8 | 農産物検査手数料 | 0.9 | 農産物検査手数料 | 0.0 | その他、製造原価 | 6.3 | | |
| 賃借料及び料金 | 24.4 | 集荷・販売にかかるその他経費 | 3.7 | 集荷・販売にかかるその他経費 | 3.0 | 販売費および一般管理費 | 19.4 | | |
| 物件税及び公課諸負担 | 3.9 | 部署・施設おける全体のコスト | 11.6 | 米穀事業に関する部署・施設おける事務費 | 0.0 | うち輸送費 | 9.4 | | |
| 建物費 | 8.0 | うち水道光熱費 | 2.6 | | | 商品保管料 | 0.5 | | |
| 自動車費 | 6.7 | 減価償却費 | 4.0 | | | 人件費 | 5.7 | | |
| 農機具費 | 47.9 | 修繕費 | 0.9 | | | 減価償却費 | 0.9 | | |
| 生産管理費 | 0.9 | 人件費 | 4.1 | | | その他、販売管理費 | 2.8 | | |
| 労働費 | 66.1 | | | | | | | | |
| 支払利子 | 0.4 | | | | | | | | |
| 支払地代 | 9.3 | | | | | | | | |
| 合計 | 232.5 | 合計 | 28.0 | 合計 | 18.8 | 合計 | 31.6 | 合計 | 50.2 |